

大空祭は万全の準備のもとで！

本来であれば明日 17 日（土）に開催予定であった大空祭ですが、新型コロナウイルス感染症が校内で拡大していたことから、10月1日（土）への延期を決定しました。このことについては、13日（火）に生徒の皆さんにも説明しましたが、突然の「延期」の発表に、また、開催日を2週間も繰り下げるということに驚いた人もいたかもしれません。しかし、これは最善の判断だと校長として思っています。



大空祭スローガン「一致団結」
全員で創り上げることが大事！

この決定の裏話をします。できれば生徒の代表からも加わってもらいたかったのですが、短時間で結論を出す必要があったため、関係する職員での協議となりました。その際に、自分は23日（金）の「秋分の日」に開催する案、つまり1週繰り下げ案を提案しましたが、参加した職員から見事に却下されました。理由は次の3つです。

- **もっと期間をとった方が、感染の収束を期待できる。実施するからには、より多くの生徒が全力で臨める日を選んだ方がいい。**
- **感染や濃厚接触等で休んでいる生徒が多く戻り、充実した全体練習、意味のある練習ができる期間をしっかりと確保してあげたい。**
- **新入大会前の3連休は、大会前の大事な期間になる。この3日間は大会に向けて練習に集中できるようにしてあげたい。**

校長の提案に対してイエスマンとなるのではなく、生徒にとって何が最善かを職員一人一人が主体性をもって真剣に考え、議論して決定したのが「10月1日開催」でした。生徒の思いに立ってこの結論を導き出した職員を、自分は誇りに思います。

今週は我慢の週でしたが、3連休明けの20日（火）から全体練習を再開します。部活動は状況に応じて明日17日（土）から、遅くとも20日（火）から練習を順次再開します。気持ち新たに、頑張っていきましょう。

感染防止と活動の「両立」を目指す！

夏休み後半以降に感染が拡大した理由の一つが、部活動によるものでした。練習や試合の場面では、マスクをはずす場面がどうしても出てくるからです。感染リスクを完全になくすことができない中で活動しなければならないため、実際に感染が広がったと考えられます。

リスクを抱えながらも、それを可能な限り軽減・回避しながら活動をしていくことが重要です。なぜなら、「リスク0」を求めることは、集団活動の全てを放棄することにつながるからです。これは部活動だけでなく、大空祭の活動や授業でも同じことです。「学びを止めない」ためには、新型コロナウイルスとの共存という現実を受け入れ、安全・安心を確保しながら活動の充実を目指すことが求められるのです。感染防止と活動の両立を目指します。

最後に…

甘く考えて対策を怠れば、**大空祭・新人戦の中止もあり得る！**

オミクロン株による感染拡大が止まらない！

「**正しく恐れる**」

過度に恐れず、**あなどらず**

- ・ 毎日の検温や健康観察
- ・ マスク着用、大声を控える、咳エチケット
- ・ 手洗い、アルコール手指消毒、常時換気
- ・ ソーシャル・ディスタンス
- ・ かぜ症状 → 学校に来ない



8月全校朝会での講話より、**第7波の感染力は強い！決してあなどってはいけない！**

いじめや差別・偏見、誹謗中傷のない！大中学生の姿は立派だ！

感染防止対策とともに重要なことがあります。そして、自分の中の問題意識としては、感染防止対策以上といてもいいほど重要であると考えていることがあります。それは、感染にかかわって「決していじめや差別をしない」ということです。

どれだけ対策をしても、誰もが感染する可能性があります。また、発症までの日数も違います。発症しない「無症状」の人もいます。こういった状況の中で、相手を思いやる気持ちをもって休み明けの仲間を迎える生徒の姿や、からかいや疑い、誹謗中傷といった無責任な言動で相手を傷つけることのない生徒の姿に触れ、うれしく、また、大中学生を頼もしいと感じています。この姿勢を継続していきましょう。



大形中学校 校長室だより
夢・希望・未来

令和4年9月16日

第14号